

公開シンポジウム

# 「辺縁」の あらたな 生活圏

人口減少時代における  
計画的住宅地と  
農山漁村の新たな連携

人口減少が進む我が国では、これまでの都市規模やコミュニティの維持が難しくなっており、人口減少時代において持続可能な地域を形成するためには、都市を適正な規模へと縮小させるとともに、複数の地域が連携する相互扶助の仕組みが必要となると考えられる。本研究会では、特にそのような連携が人口減少や年齢構成の偏り等の問題を抱え、生活圏やライフスタイルの変化の著しい大都市圏中心部から離れた計画的郊外住宅地や農山漁村で求められると考え、研究をこれまで実践してきた。本シンポジウムは、これら計画的郊外住宅地と農山漁村を「辺縁」として一体的に捉え、従来の都市の論理に囚われない新たな連携の在り方や生活圏の構築を試みるにあたり、それぞれの生活圏の在り方から連携のヒントを見出すことを目的に実施する。

司会=小島見和 (福山市立大学)

記録=中村大智 (大阪大学)

趣旨説明・背景 データから見た「辺縁」 郊外と農村 | 青木 嵩 (大阪大学)

話題提供1 大阪都市圏縁辺部のニュータウンでの出来事を通じて考える、  
ニュータウンと農村の新たな関係性 | 福本 優 (兵庫県立人と自然の博物館)

話題提供2 今とこれからの農山漁村の生活圏 | 友瀨貴之 (宮城大学)

調査報告1 兵庫県三木市に見る「辺縁」 | 山本翔也 (大阪大学)

調査報告2 和歌山県橋本市に見る「辺縁」 | 林 和典 (近畿大学)

コメント=佐久間康富 (和歌山大学)

討論司会・総括=小島見和 (福山市立大学)

2025年2月27日(木) 18時30分～20時30分 (18:15開場) 大阪大学中之島センター6階セミナー室C&D

主催：人口減少時代における計画的住宅地と農山漁村の新たな連携研究会 (青木嵩・小島見和・林和典・山本翔也・中村大智)

助成：一般財団法人第一生命財団奨励研究都市とくらしの分野、都市計画学会関西支部

要申込 = <https://forms.gle/n5bGXhkgki4xT3GF9> (下記QRコードより)

参加費無料 | 定員 = 50名 | 申込締切 = 2024年2月26日12:00

お問い合わせ = [enken@googlegroups.com](mailto:enken@googlegroups.com)



〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 大阪大学中之島センターの正面玄関は中之島通に面しております。10階建ての最上階がガラス張りで薄緑色に見える建物が大阪大学中之島センターです。京阪中之島線中之島駅より徒歩約5分 | 阪神本線 福島駅より徒歩約9分 | JR東西線 新福島駅より徒歩約9分 | JR環状線福島駅より徒歩約12分 | 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約10分

